

新型コロナウイルスをめぐる最新の動き(6月29日付)

在モントリオール日本国総領事館

●当館管轄州における感染者数等の現状(6月29日(月)15時現在, 各州政府 HP・記者会見から引用)

	陽性*	死亡	現在感染者数**	検査済(陰性)	入院者数
QC (25日比)	55390 (+311)	5485 (+37)	25303 (-542)	535545 (+10967)	455 (-32) (内 ICU 患者:45 (-5))
(MTL) (25日比)	27270 (+121)	3361 (+19)	-	-	-
NB	165 (0)	2 (0)	5 (0)	42925 (+171) ***	2 (0) (内 ICU 患者:1 (0))
NS	1061 (0)	63 (0)	0 (0)	53263 (+207)	2 (0) (内 ICU 患者:0 (0))
PEI (26日比)	27 (0)	0 (0)	0 (0)	11346 (+698)	0(0) (内 ICU 患者:0 (0))
NL	261 (0)	3 (0)	0 (0)	17549 (+109) ***	0 (0) (内 ICU 患者:0 (0))

(注:カッコ内は前日比。但しケベック州、モントリオールは6月25日比、PEIは同26日比。)

*当館管轄州は「確定」「推定」の分類ではなく、「陽性(Positive)」「陰性(Negative)」のみの分類表記。但、ケベック州は確定数。

**「現状の感染者数」は、「累計陽性者数」から「治癒者数」と「死亡者数」を差し引いた数(=Active cases)。

***陽性数も含めた検査数の合計を表示していることに留意。

1 当館からのお知らせ等

◎(6月29日)当館からのお知らせ

当館は3月10日から各州の新型コロナウイルスをめぐる情勢について、政府発表や関連報道等を取りまとめ、毎日当館ホームページや領事メールなどを通じ皆様に状況をお伝えしてきました。(注:領事メールを通じた御報告につきましては5月29日に停止。)

一方、最近では各州において状況は安定しつつあり、また経済再開や規制緩和もある程度進展したことに伴い、新型コロナウイルスに関する各州政府関係者の記者会見・発言や報道等も以前より減りつつあります。

この状況を受けまして、当館ホームページを通じた皆様への本件情報提供につきましても、7月からその分量を縮小し、毎日御報告するのは各州の感染者数等とさせていただきます。他方、引き続き再開・規制緩和に関する情報や大きな動きがあった際には、随時情報を当館ホームページに掲載・アップデートいたしますので、ご参照ください。

各州において状況は安定しつつあるとはいえ、第2波の懸念など引き続き油断のできない状況が続いています。皆様におかれましては、感染を避けるために十分な予防策を継続していただくようお願いいたします。

◎(5月22日)伊澤総領事からのメッセージ

気候も快適になり、カナダは一年で一番良い季節を迎えつつありますが、皆様如何お過ごしでしょうか。依然として感染拡大が続くモントリオールですが、ケベック州政府は、来週以降、徐々に社会経済活動を再開させて行きます。

来週からは通りに面した商店も再開されます。既にここ数日、以前よりも多くの市民が街に出てきているように感じます。自主隔離生活も長期になり、閉塞感のあるこの不便な状況から解放されたい気持ちは理解できますし、街に活気が戻ってくるのも楽しみです。既に感染が落ちついている大西洋州で制限解除が進むのも当然でしょう。その一方、抑制されつつあるとはいえ、依然として毎日数百名の感染者が出ているモンリオールにおいて、この時点で活動制限を緩めていくことが、感染にどのような影響を及ぼしていくのか見極めが必要だと思えます。

今後感染がどのようなようになっていくのか予断は難しいですが、ケベックについて言えば、先般州の研究所が公表した見通しにもある通り、残念ながら感染が早期に収束する見通しは少なそうです。しかも制限解除によって市民間の接触も格段に増えることとなります。従って、今後しばらくの間、日常生活において、私たちはウィルスとの共生を余儀なくされることになると思います。その期間がどれ程になるのかわかりません。ケベックに住む私たちは、長期戦の覚悟で、ビジネスの仕方やお子様の就学等様々な面で、今後の生活を考えていく必要があります。

総領事館の活動は従来通りですが、まずは、来週以降の制限の段階的解除がどのような状況になるのか集中してフォローしていきます。これまで以上に街に市民が出てきますので、皆様におかれましても、十分な予防措置を講じて頂きたいと思えます。

2 新型コロナウイルスに係る当館管轄州の報道ぶり等

※以下の情報は、報道ベースのものであり、当館が情報自体の正確性について保証するものではありません。

【1 カナダ全般】

(1) (29日)トルドー連邦首相が記者会見を行ったところ、要旨以下のとおり。

- 中小企業向け緊急家賃補助プログラム(CECRA/AUCLC)を1ヶ月延長する。
- カナダ保健庁が本日午後最新の予測を発表する。国内新規感染者数、死者数、入院者数ともに減少しているが、新型コロナウイルスとの闘いはまだ終わっていない。
- 今後自分の記者会見は定例ではなく状況に応じての開催となる。
- (連邦政府の緊急給付金 (CERB/PCU)プログラムがケベック州経済に悪影響を及ぼしているとの同州閣僚の批判について問われ、)経済は回復しておらず仕事不足の状況の中、同給付金を必要としている家庭や労働者がおり、批判にはあたらない。

(2) (29日)カナダ保健庁が最新の予測を発表。各州が徐々に規制を緩和する中でも感染は概ね制御されているが、適切な感染経路調査・隔離システムなしに緩和を急激に進めれば、感染者数が再び急増する可能性をモデルは示している。

Update on COVID-19 in Canada: Epidemiology and Modelling

https://www.canada.ca/content/dam/phac-aspc/documents/services/diseases-maladies/coronavirus-disease-covid-19/epidemiological-economic-research-data/update_covid_19_Canada_epidemiology_modelling_29june2020.pdf

(関連報道)

COVID-19 transmission 'largely under control' but relapses possible: Dr. Tam

<https://www.cbc.ca/news/politics/covid-projections-tam-1.5631059>

